

鳴門市ふるさと納税 寄附金充当事業報告

このたびは、鳴門市に心のこもったご寄附を賜りまして、誠にありがとうございました。皆様からいただいた寄附金を活用して、実施した事業をご報告いたします。

なお、平成31年度事業として活用させていただいた寄附金の残額につきましては、鳴門市ふるさと活性化基金に積み立て、今後活用させていただく予定です。引き続き鳴門市に、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鳴門市長 泉 理彦

● マルチスポーツ・ 障がい者スポーツ推進事業

③健康増進及びスポーツ振興

幼児期におけるマルチスポーツの推進を図るため、市内7か所の幼稚園・認定こども園を総合型地域スポーツクラブが訪問し、陸上・体操・リトミックなどの運動教室を実施しました。実施後の体力測定では、全国平均を概ね上回るなどの効果が得られました。

また、障がい者スポーツを推進するため、市内小学校3校にて車いすバスケットボールおよび車いすソフトボールの競技者と共に、車いすスポーツを体験する障がい者ふれあい交流事業を実施しました。



● 青少年派遣補助金助成事業

⑩観光・交流の推進

ドイツ・リュネブルク市との姉妹都市交流を若い世代に引き継ぐべく、平成25年度より親善使節団に青少年枠を設け、今回で4回目の派遣となりました。

派遣にあたっては、参加者の負担を軽減し、参加しやすくなるよう旅費の一部を助成しています。

参加者は現地でのホームステイや学校訪問を通じて友好を育むとともに、国際理解を深め、国際交流や英語学習等に対して意欲的な姿勢になって帰国しました。



● Tリーグ誘致事業

③健康増進及びスポーツ振興

スポーツの振興と交流人口の拡大による地域活性化を図ることを目的に卓球Tリーグの誘致を進め、令和元年9月6日・7日に四国初となるTリーグ男子公式戦3試合を鳴門市にて開催しました。

市内外から訪れた約2,600人の来場者に、世界トップレベルのプレーを間近で体感してもらうことができました。

● 歓迎塔画面貼付業務

⑩観光・交流の推進

看板が新しくなり、高速鳴門バス停で降りた観光客に対して、おもてなしの意思を伝えることができ、鳴門市の第一印象の向上に繋がっています。

また、高速道路を通り徳島方面へ向かう方にも鳴門市をPRすることができています。



● ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業

⑦文化・芸術活動の推進及び文化財の保護活用

「世界の記憶」登録推進事業の周知と機運醸成を図る目的で、ドイツ兵の慰霊碑建設100周年記念事業として献花式や音楽祭、講演会を開催しました。また、資料レプリカの製作も行いました。

献花式では、本市とドイツとの100年続く友愛の歴史を振り返り、改めて板東俘虜収容所資料の貴重性を伝えることができました。



● 消防団安全装備品整備事業

⑭市への一任

南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防団員の安全装備として防火長靴（救助用半長靴）を消防団員384名に配付しました。

消防団員の災害時の活動において、安全にかつ安心して活動でき、消防力の強化につながっています。

● 児童用心肺蘇生教育 普及啓発用資器材整備事業

④防災・防犯対策及び救急・消防等の充実強化

鳴門市消防本部では、年間約80回、延べ約3,000人への救命講習を行っています。

これまで成人を対象とした講習を中心に行っていましたが、この度、乳児・小児の訓練人形等を整備し、乳児・小児に対する救命講習を実施しました。また、学校の協力を得ながら小学生からの心肺蘇生教育にも取り組みました。

今後は多くの市民が心肺蘇生とAEDに関する知識と技能を習得し、突然の心停止から救える命を救うことのできる社会の実現を目指します。



● 消防資機材整備事業

⑭市への一任

住宅火災などでは空気呼吸器は必須のアイテムです。隊員の安全を守りつつ、長時間の活動を可能とするため、消防力の強化に繋がります。

このたびはコンプレッサーの購入を行うことで、より実践的な訓練を行うことが可能となりました。

